従業員専用情報

社外秘

雷サージ試験器の遷移

2023.10 株式会社ノイズ研究所 販売企画課

1

Noise Laboratory Co.,LTD.

- 本書は雷サージ試験器の遷移を纏めた資料です。※標準器のみ
- 雷サージ試験器は特注モデルが多数あるため、過去のカタログに掲載されていた代表的な標準器の 遷移を纏めています。
- 規格の詳細は規格書原本で確認願います。
- 詳細仕様および特注器については各製品の取扱説明書やカタログで確認願います。
- 製造時期は当社HPの修理対応状況表より引用しています。

JEC



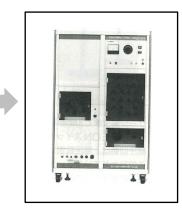
710B/712B

710B 出力電圧:±10kV

波形:1.5/50µ電圧

712B 出力電圧:±12kV 波形:1.5/50µs電圧、8/20µs電流

製造時期:1977年~



720B/730K

720B 出力電圧:±20kV

波形: 1.5/50µs電圧、8/20µs電流 730K 出力電圧:±30kV

波形: 1.5/50µs電圧、8/20µs電流

製造時期:1983年~



770B

出力電圧:±12kV 波形: 1.5/50µs電圧、 10/200µs電圧、

8/20µ電流

製造時期:1991年~

FCC



720B2

出力電圧:±20kV

波形: 1.5/50µs電圧、8/20µs 雷流

製造時期:1984年~



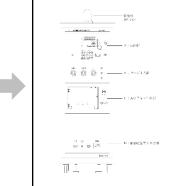
770FB

出力電圧:出力波形により異なる 波形: 2/10µs、10/160µs、

10/560µs

製造時期:1984年~

FCC part68 sud Part D 対応。



FCC68

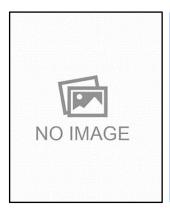
出力電圧:出力波形により異なる 波形: 2/10µs、10/160µs、 10/560µs 9/720µs

製造時期:2000年~

FCC part68(1998)規 格対応。

NOISE LABORATORY CO.,LTD.

IEC 15KVタイプ 規格は販売当時の規格



5S# / 15S# series

波形:コンビネーションウェーブ フローティング出力: 未対応 5S# 出力電圧:6kV MAX 15S# 出力電圧:15kV MAX

製造時期:各モデルで異なる



IEC pub 801-5対応 10/700µsを含む試験器は モデル名確認が必要。



1995

2014

IEC 1000-4-5 Ed.1対応

モデル名末尾にAまたはB が付与されている試験器 はEd.2対応。

15AX-# / 15AX-#A /

15AX-B# series

A1,B1,C1: 単相モデル

A3.B3.C3: 三相モデル

から対応

※B1R / B3RはRINGWAVEあり

波形:コンビネーションウェーブ

フローティング出力:このモデル

製造時期:各モデルで異なる



. .

15AX serise A1,A3:10/700μsなし B1,B3:10/700μsあり※CDNはなし C1,C3:10/700μsあり **F02/F03 series** A1,A3:10/700µsなし C1,C3:10/700µsあり #にはアルファベット文字や数字が入ります。

F02# / F02#A series

A1.C1: 単相モデル A3,C3:三相モデル

波形:コンビネーションウェーブ

製造時期:各モデルで異なる



Ed.2対応

IEC 61000-4-5 引取改造によりEd.3に対



F02AxA-ED3 / F02Cx-ED3

A1,C1: 単相モデル A3,C3:三相モデル

波形:コンビネーションウェーブ

製造時期:2014年~



Ed.3対応

IEC 61000-4-5 試験器の「STANDARD EDITION | で対応規格を 切替。



IEC 61000-4-5 Ed.3対応

F03#

A1,C1: 単相モデル A3,C3:三相モデル

波形:コンビネーションウェーブ スイッチ:イグナイトロン

製造時期:2014年~



F03#A

A1,C1: 単相モデル A3,C3:三相モデル

波形:コンビネーションウェーブ

スイッチ:半導体

製造時期:1984年~



IEC 61000-4-5 Ed.3対応

IEC 6KVタイプ

規格は販売当時の規格

6330 serise A,B,C共通: 1.2/50μs-8/20μs 10/700μs-5/320μsコンビネーション、RINGWAVEあり

C63A: RINGWAVEなし



60x0 / 61x0

単相16Aモデル

波形:コンビネーションウェーブ 6010:10/700µs,RingWaveなし 6030: 10/700µs,RingWaveあり

製造時期:1998年~

1995

IEC 1000-4-5 Ed.1対応

xには1桁の数字が入ります。



6330-A20A / B63A /C63A

A20A:単相20Aモデル B63A:三相63Aモデル C63A:三相63Aモデル 波形:コンビネーションウェーブ

製造時期:1984年~



IEC 61000-4-5 Ed.3対応



6230/6230A

単相16Aモデル

波形:コンビネーションウェーブ 10/700µs,RingWaveあり

製造時期: 各モデルで異なる



IEC 61000-4-5

6230: Ed.2対応。 Ed.2対応 6230A: Ed.3対応。



IEC 61000-4-5 Ed.3対応



6330-A20 / B63

A20:単相20Aモデル B63:三相63Aモデル

波形:コンビネーションウェーブ

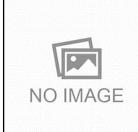
製造時期:1991年~



IEC 61000-4-5 Ed.3対応

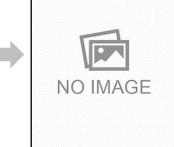
Noise Laboratory Co.,LTD.

IEC _{15KVタイプEd.3への引取改造}



改造前のモデル名

LSS-F02A1 LSS-F02A1A LSS-F02A3A



改造後のモデル名

LSS-F02A1QED3 LSS-F02A3QED3 LSS-F02A1AQED3 LSS-F02A3AQED3

Ed.1対応。10/700µsを 含む試験器はモデル名確 認が必要。 モデル名末尾にAまたはBが付与されている試験器はEd.2対応。



改造前のモデル名

LSS-F02C1 LSS-F03C3



改造後のモデル名

LSS-F02C1QED3 LSS-F02C3QED3

規格改版の推移と改訂内容のポイント

※詳細については規格書にて確認願います。



IEC pub 801-5



IEC 1000-4-5 Ed.1



IEC 61000-4-5 Ed.2

- ■波形名称変更
- ■位相角シフト及び出力インピーダンスの許容差変更
- ■実効出力インピーダンスの規定 実効出力インピーダンス=開放ピーク電圧÷短絡ピーク電流
- ■CDN選択フローチャートの追加
- ■電源線用CDN規定 電圧低下10%以下 ⇒ チョークコイル1.5mH → 1.5mH以下
- ■非シールド不平衡相互接続線:結合素子3種
- ■非シールド平衡相互接続線:高速専用CDN ※通信検証が必要
- ■試験:1分間隔以下



- ■1.2/50µsサージ:波形規定の変更 発生部の波形校正時、18µFコンデンサを接続
- ■電源線CDN:波形許容差の電流区分の変更 EUTの電流容量区分に適合したCDNしか使用できない
- ■非シールド対象信号線CDN:回路構成変更 出力波形の規定が新たに設定
- ■非シールド非対称信号線CDN:回路構成変更 出力波形の規定が新たに設定
- ■シールド線試験:片側接地シールドはシールド線試験に含めない
- ■10/700µsサージ:波形規定の変更 試験対象を300m以上の屋外通信線に限定
- ■10/700µs通信線CDN:結合抵抗の変更、一次保護素子の追加
- ■試験:PE線のない電源線のライン-グラウンド試験は実施しない

覚えておきたい規格改定ポイント

